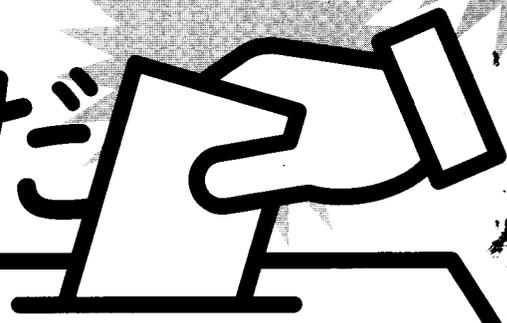


参議院選挙 争点は 「格差」だ



6月19日に行なわれた党首討論は、参院選の争点が明確化されな
いまま終わったが、今、多くの人
が気にかけているのは目前に迫っ
た消費税増税の問題だ。野党が参
院選で支持を集めるには、消費税
減税を打ち出す、この道しかない。

政権になってからの約6年半で格
差が広がっています。
安倍政権の経団連（日本経済団
体連合会）中心主義は一目瞭然で、
「目先の株価を上げる」とさまざ
まな公的資金を投入してきました
た。今、年金が問題になっていま
すが、年金の原資を使ったのは安
倍政権です。さらに、大企業
優遇の法人税を進め、逆進性の強

参院選公示前緊急対談 雨宮処凛×中島岳志



い消費税の増税も2014年に断
行しました。一見、景気が良いよ
うに見えるのは、輸出が好調だか
らです。その貯金も米国のトラン
プ大統領と中国の習近平国家主席
の争いによって陰りが見えてきて
います。それが世界の趨勢です。
こんな中で安倍政権はまた逆進
性の強い消費税を上げて、また大

6年半あまりの第2次安倍晋三政権下で格差が拡大し、貧困化が深刻になっている。非正規雇用が急増し、年収が伸びないどころか、いつ失業するかわからない。本当に暮らしていけるのだろうか。生活苦への悲鳴があがるなか、金融庁の金融審議会が「95歳まで生きるならば夫婦で2000万円の老後資金が必要」と報告書に記載した。しかも安倍政権は消費税率を今年10月から10%に上げる方針だ。一方、野党の一部からは消費税減税の声が出ている。この夏の参議院選挙の争点に急浮上した消費税と年金、暮らしの問題を考える。

上/安倍首相(右中央)との党首討論に臨む立憲民主党の枝野幸男代表(左)。(提供/時事フォト)
下右/消費税増税で低所得者層はもちろん、幅広い層の生活がますます圧迫されていく懸念が大きい。(撮影/編集部)
下左/「2000万円問題」で、謝罪する金融庁の局員(右)と、その後ろで仏頂面の麻生太郎財務大臣。(提供/時事フォト)

企業を守ろうとしています。今回
の参院選は、それに対する「反乱」
と位置づけなければいけません。
左右対決ではなく上下対決。「格
差」の問題であるということ。こ
の問題の一番中核にあり、みんな
の生活に関わっているのが消費税
です。野党が訴えていくべきはこ